

糖尿病性腎症重症化予防事業

(事業概要)

対象者：上川北部圏域糖尿病性腎症重症化予防プログラム対象者

- ① 空腹時血糖 126 mg/dl 以上または HbA1c6.5%以上の糖尿病未治療者または治療中断者
- ② 糖尿病治療中で、腎機能の低下が危惧される糖尿病コントロール不良者（HbA1c7.0 以上）の者

実施方法：対象者に結果説明を実施し、上記プログラムに同意いただき、主治医指示に基づいた保健指導を実施する。

評価方法：アウトプット評価 結果説明実施率、医療機関受診率、保健指導実施率

アウトカム評価 プログラム参加群※1・非参加群※2 別の次年度健診結果数値（HbA1c、eGFR）変化（平均値比較）

※1 参加群：プログラムに同意し、主治医の指示があり保健指導を行った者

※2 非参加群：プログラムに同意しなかった者、および医師の指示がなかった者

(実施結果および評価)

<アウトプット評価>

対象者① 2023 年度抽出者 9 名、対象者 7 名、結果説明実施率 100%、
プログラム参加率 85.7%

医療機関受診率 100%、医師の指示に基づいた保健指導実施率 100%

対象者② 2023 年度抽出者 18 名、対象者 18 名、結果説明数実施率 100%、
プログラム参加率 94.4%

医療機関受診率 100%、医師の指示（88.8%）に基づいた保健指導実施率 100%

<アウトカム評価>

プログラム参加者の次年度（2024 年度）健診結果による数値評価

対象者①	参加群	（当該年度）HbA1c7.90%→（次年度）HbA1c6.00% （n=5）
		（当該年度）eGFR78.98 →（次年度）eGFR74.66 （n=5）
	非参加群	（当該年度）HbA1c5.83%→（次年度）HbA1c6.43% （n=3）
		（当該年度）eGFR86.07 →（次年度）eGFR85.77 （n=3）
対象者②	参加群	（当該年度）HbA1c7.75%→（次年度）HbA1c7.35% （n=13）
		（当該年度）eGFR75.70 →（次年度）eGFR69.24 （n=13）
	非参加群	（当該年度）HbA1c7.53%→（次年度）HbA1c7.27% （n=3）
		（当該年度）eGFR73.53 →（次年度）eGFR64.63 （n=3）

<総合評価>

医師に指示書に基づき、栄養指導、服薬指導等を実施した結果、HbA1c は対象者①の糖尿病未治療者・治療中断者および対象者②の糖尿病コントロール不良者ともに参加群においての改善が見られた。非参加群においては、対象者①の糖尿病未治療者・治療中断者については悪化し、対象者②の糖尿病コントロール不良者については改善が見られた。

eGFR については、大きな変化は見られず、維持されている状況であったが、個人別でみると非参加群において、前年比 35%以上低下した者が存在した。eGFR は過剰ろ過や一時的な脱水、服薬等の影響もあり、数値の増減を腎機能の評価指標とすることは一概にはできない。

以上のことから、糖尿病性腎症重症化予防の取組は、血糖（HbA1c）を安定化させ、重症化への進展を抑制させている。今後も主治医と連携した取り組みを実施し、生活習慣病の重症化予防に努める。